

大阪関西万博きょうとアクションプランについて

1. アクションプランについて

- 「大阪・関西万博きょうと基本構想」を踏まえ、構想を具体化する「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」を作成
- 「万博の機運醸成の取組」や「万博会場から京都府内各地への誘客など、府内の活性化を目的とする取組」の中から、イベント、会議、展示会、ツアーなどとして具体的に記載されたものをアクションプランに掲載
- 「大阪・関西万博きょうと基本構想」を踏まえ、「地域」の特色を生かした、「文化・環境」「産業」「観光」などの分野の取組を位置付ける。
- アクションプランは、事業の進捗状況や新規事業の検討も踏まえながら、定期的に改訂を行っていく。
- 本アクションプランは、現時点での目指すべき取組の概要を示したものであり、実際の事業については、各実施予定団体等において、経済性や事業効果、財政状況や事業の調整状況等を総合的に判断し、毎年度の予算編成を通じて決定するものである。
- 今回のアクションプランには、新たに「(3) 基本構想に賛同する企業や団体が実施する取組」として、大阪・関西万博きょうと推進委員会認証制度により認証した企業や団体の取組を追加している。

2. アクションプランの構成

- (1) 大阪・関西万博きょうと推進委員会が実施する取組
- (2) 大阪・関西万博きょうと推進委員会参加団体が実施する取組
- (3) 基本構想に賛同する企業や団体が実施する取組

<アクションプラン（Ver2）の集計結果>

提出団体	文化・環境	産業	観光	合計
(1) 推進委員会				3
(2) 推進委員会参加団体				80
京都府・京都市	5	1	2	8
学研機構・京都府	0	1	0	1
京都府	7	2	2	11
京都市	6	5	4	15
京都市以外の市町村	15	5	14	34
経済団体等関係団体	4	5	0	9
有識者	2	0	0	2
(3) 基本構想に賛同する企業や団体	33	5	18	56
合計	72	24	40	139

大阪・関西万博きょうとアクションプランにおける
「フラッグシップ・アクション」

- ・ 京都駅エリアまるごとゲートウェイ
- ・ きょうとまるごとお茶の博覧会 2025
- ・ 和食と世界の食サミット
- ・ KYOTO 地球環境の殿堂 国際会議・未来会議
- ・ スタートアップイベント
- ・ 京都の川巡り
- ・ けいはんな万博 2025
- ・ Music Fusion Kyoto 国際音楽祭（仮称）
- ・ 京都府立植物園メディアアートプロジェクト（仮称）
- ・ 京都国際マンガ・アニメフェア
- ・ ‘ほんまもん’を伝える「食の京都」レストランスペシャル

(1) 大阪・関西万博きょうと推進委員会が実施する取組

【目指す姿】

大阪・関西万博に向けた府民の機運を高め、ステークホルダーの参画を促進する。

概要

大阪・関西万博に向けて、府民、既に万博に向けて取組を始めている方、これから万博に向けて取組を始めたい方が集まり、新たな交流や取組が生まれることで、より多くのステークホルダーを生み出し、万博に向け、京都府全体の機運を高めていく。令和6年度は、府内全域からの誘客も意識し、京都の玄関口でもある、京都駅周辺で実施。

【令和5年度開催実績】12月1日、1895年（明治28年）に政府主催の内国勧業博覧会が開催され、歴史的にも万博と縁のある岡崎エリア（会場はみやこめっせ）で大阪・関西万博500日前を契機とした機運醸成イベントを開催。

【令和6年度開催実績】万博の開催1年前（令和6年4月13日）にあわせて、京都タワーなど府内各所を大阪・関西万博のイメージカラー（赤色及び青色）にライトアップ

実施主体

大阪・関西万博きょうと推進委員会

実施場所

京都駅周辺

実施時期

令和6年10月12日（土）

関連HP

大阪・関西万博きょうと推進委員会公式HP（EXPO KYOTO Official site）
-coming soon

その他

—

【問い合わせ窓口】推進委員会事務局

（京都府総合政策環境部万博・地域交流課、京都市産業観光局産業企画室）



万博後の取組

【目指す姿】

今後世界レベルで共有すべき課題や情報を「京都から世界へ」発信する。

概 要

大阪・関西万博会場において、万博の全体テーマである「いのちがやく未来社会のデザイン」、京都が特色を持つ「文化・環境」「産業」「観光」「地域」をテーマとしたカンファレンスを実施する。カンファレンスでは、各分野で活躍される著名人や万博参加国の政府関係者等をお招きし、各分野に関する課題や各国の取組、今後の取組の方向性などについて、京都の特色である「継続・継承」の要素も交えながら意見交換や講演をしていただく。

また、「EXPO KYOTO Meeting (仮称)」を呼び水として府域でも分科会を開催し、より具体的な議論を展開する。

実施主体

大阪・関西万博きょうと推進委員会

【問い合わせ窓口】推進委員会事務局

(京都府総合政策環境部万博・地域交流課、京都市産業観光局産業企画室)

実施場所

万博会場内 EXPOホール大催事場

実施時期

令和7年4月23日(水)

関連HP

大阪・関西万博きょうと推進委員会公式HP
(EXPO KYOTO Official site)
-coming soon

そ の 他

—



EXPO ホール (大催事場) 外観イメージ

万博後の取組

府域で開催する分科会を継続して開催する。

【目指す姿】

万博会場を府域への「ゲートウェイ」として、万博来場者を京都へ誘客する。

概要

大阪・関西万博会場内に整備される関西パビリオンに京都ブースを出展する。
様々な国の人が集まり、交流することをテーマとしてステージ機能や情報発信機能を設ける。一定期間で内容を変えながら、府域における取組と連動したパフォーマンスや情報発信を京都ブースで行うことで、府域への誘客を図る。

実施主体

大阪・関西万博きょうと推進委員会

実施場所

万博会場（夢洲）内 関西パビリオン

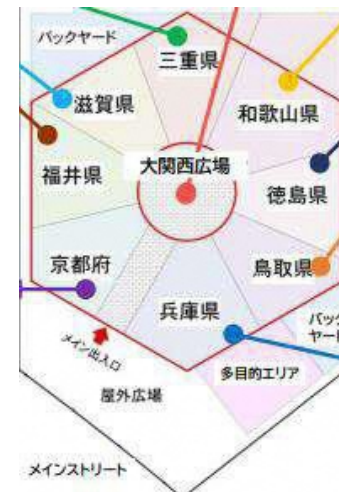
実施時期

令和7年4月13日～10月13日

関連HP

大阪・関西万博きょうと推進委員会公式HP（EXPO KYOTO Official site）-coming soon

【問い合わせ窓口】推進委員会事務局（京都府総合政策環境部 万博・地域交流課、京都市産業観光局産業企画室）



その他

—

万博後の取組

京都ブースで使用したインスタレーションを万博のレガシーとして府域で展示。

(2) 大阪・関西万博きょうと推進委員会参加団体が実施する取組

【目指す姿】

- ・万博を契機として、京都駅周辺一帯での文化芸術によるまちづくりを推進する。
- ・京都駅から府内各地の魅力を発信し、京都駅を玄関口として、府南部・北部に誘客を図る。

概 要

想定エリア：東＝京都市立芸大や鴨川・高瀬川 西＝梅小路京都西駅～丹波口駅
南＝京都駅南口エリア 北＝東本願寺前市民緑地

- 京都駅エリアを文化と芸術があふれるまちにするため、府内の芸術系大学の学生や若手芸術家の現代アート作品を万博期間中、常設展示
- 京都駅や京都市立芸術大学を中心に、エリア内で、音楽やアートのライブパフォーマンス、インスタレーション、アーティストのトークセッションなどで構成される「街中芸術祭」を秋頃に1～2週間開催
- お寺やホテル、美術館・博物館などの施設と連携し、「生け花」「書」「食」「現代アート」などをテーマごとに体験できる周遊ゾーンを駅周辺を起点に造成。

想定時期：GW明けから祇園祭開幕までの期間、テーマごとに期間を区切って開催

- 梅小路公園では、夕方から始まるナイトマーケットやお祭り縁日、タイや台湾などアジア各国の屋台が並ぶ夜市などを万博期間中定期的で開催
- さらに府内の万博関連情報が入手できる拠点を、京都駅をはじめ、駅周辺の関連施設に設置し、府南部・北部へ誘客



【目指す姿】 日本茶の歴史を再認識し、お茶に親しむ府民が拡大するとともに、京都のお茶の文化が広く世界に注目される。

概 要

- 京都のお茶の文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から、茶器や茶道具の作家や菓子の職人までが一緒になって、京都を訪れるお客様をもてなす「万博大茶会」を秋に開催

想定会場：京都市内は、北野天満宮、二条城、京都岡崎エリア、京都国立博物館など
京都市外は、天橋立、舞鶴赤レンガ倉庫など

特徴：府内の大学生、高校生、若者も参加しておもてなしを実施
- 万博会期中は、通常一般公開されてない茶室から、老舗茶問屋や茶舗などが経営する抹茶カフェやティーサロンなどで、月釜や茶会を誰でも気軽に参加できるように実施

想定会場：松花堂庭園、アサヒグループ大山崎山荘美術館、一休寺などの寺社仏閣や美術館・博物館などの文化施設で開催
- 府内各地の茶の美術館・博物館に呼びかけ、「京の茶道・茶業・茶文化」をテーマにした企画展を連携実施



【目指す姿】

ユネスコ無形文化遺産「和食」の発信と世界の食文化の交流の拠点となる京都

概 要

「京都・和食の祭典」を「京都・食の祭典International」として、万博期間を通じて開催

- 世界の料理（中華・フランス・イタリア・スペイン等）と和食の料理人がペアになり、一組一品ずつ京都の食材を使った創作料理を担当し、コース料理として提供するガラディナーを5～6月頃に開催

- ガラディナーと合わせて、料理人によるトークショーを開催

想定会場：京都市内の高級ラグジュアリーホテル

- 7月以降は、世界の料理×地域の食のコンペティション、海外料理人フェローシップ、公式参加国関係者向け試食会などを開催し、多彩な国際交流を実施
- 各時期の旬の食材と地域を掛け合わせた食のフェアを実施。京都にある万博参加国の料理店にも参加を要請



【目指す姿】 環境団体や大学、産業界など、多様な主体とのパートナーシップを生かし、脱炭素で持続可能な社会の実現をリードする環境先進地・京都

概 要

- 2050年カーボンニュートラル実現 に向けた課題について、「気候変動」、「生物多様性」等の分野ごとに議論する「KYOTO地球環境の殿堂・国際会議」について万博を機にスペシャルバージョンとして9月に国立京都国際会館で実施
特徴：過去の殿堂入り者（36名・1団体）等が参加して実施
- 先行イベントとして、国内外の高校生等による「KYOTO地球環境の殿堂・未来会議」を春から夏頃に開催
想定テーマ：京都1200年の歴史の中で守り、共存してきた自然環境が、文学や芸能、芸術、伝統産業等の京都文化に深く影響を及ぼしていることへの理解、自然環境保全の重要性
実施内容：例えば、希少な鳥類や500種以上の植物等が生息する京都御所の自然観察や「アカマツ再生プロジェクト」の視察などを含むワークショップを通じて未来への提言をまとめる。
- 「未来への提言」は、KYOTO地球環境の殿堂・国際会議の成果文書に反映させる。



【目指す姿】 社会課題解決を目指す起業家、投資家が世界中から集まり、社会実装につなげる「世界に伍するスタートアップ拠点」となっている京都

概 要

- 世界からスタートアップ企業や投資家等呼び込むため、「IVS」等の国際的な大型スタートアップイベントの商談会やピッチ、講演会、やセッション等のイベントをスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」である大阪や神戸と連携し、万博開催期間中、規模を拡大して実施。



【目指す姿】 いにしえより、京都の文化や産業と深く関わり、地域をつないできた「川」をキーワードに、京都の魅力を再構築し、人を呼び込み、新たな交流と連携を生み出す京都

概 要

- 淀川舟運の復活を契機に、淀川沿川の自治体が連携し、船頭が川と地域との関わりを話す特別クルーズや、川にちなんだ食のマルシェ、沿川の観光スポット巡りなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を5月頃に開催。
 想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市、久御山町 など
- 筏流しの復活（保津川）を始めとした、「京都の川」の周辺で育まれてきた京都の文化や産業の歴史の奥深さを学び、体験できるイベントを開催し、周遊できる観光コースを造成
 想定河川等：鴨川、宇治川、桂川、保津川、琵琶湖疏水、高瀬川など



【目指す姿】けいはんな学研都市の魅力発信、オープンイノベーション拠点のさらなる発展 未来社会の共創と先端技術の社会実装の加速

概要

- けいはんな学研都市の「今」を紹介し、「未来」を提案する4つのテーマのフェスティバルを万博期間を通じて開催
「ロボット・アバター・ICT」：ロボット大運動会やアバターチャレンジの開催など
「ウェルビーイング」：フードテックエキスポやマルシェの開催など
「スタートアップ」：スタートアップコンgressの開催など
「サイエンス&アート」：科学と芸術の融合したフェスティバル
- 世界の碩学、賢人が、健康で平和で豊かな「未来」の実現に向けてメッセージを発信する国際会議（賢人会議）を開催。
- 研究開発力の発信、交流促進、オープンイノベーション拠点の機能強化を図るため、オープンラボ/テックツアーを展開
- 様々な分野、立場の人々が交流し、科学と文化や芸術の融合により新たな価値を生み出す場となるコモンズを創出



【目指す姿】世界との交流による新たなアート・音楽の創造・発信

概 要

- 音楽家の街・京都の発信、新たな音楽の創造と発信
 - ・令和6年度は、プレイベントを開催
 - ・万博会期中に、プロやアマの音楽家をはじめ、音楽家を夢見る子供や若者が世界中から集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する「Music Fusion Kyoto国際音楽祭（仮称）」を開催
- 万博後も、継続開催し、府民が音楽に親しむ機会を創出するとともに、京都から新たな音楽の創造・発信する。

【目指す姿】 植物園とメディアアートを掛け合わせた、京都の新たな夜の文化観光コンテンツを世界に発信

概要

- 京都府立植物園で、最新テクノロジーを活用したメディアアートのインスタレーションを実施。
- インスタレーションは、日本人が大切にしてきた自然への敬愛を表したメッセージが込められており、日本文化の魅力を発信するとともに、作品を通じて子ども達にも分かりやすい形で植物や生物多様性への興味・関心の向上も図る



【目指す姿】

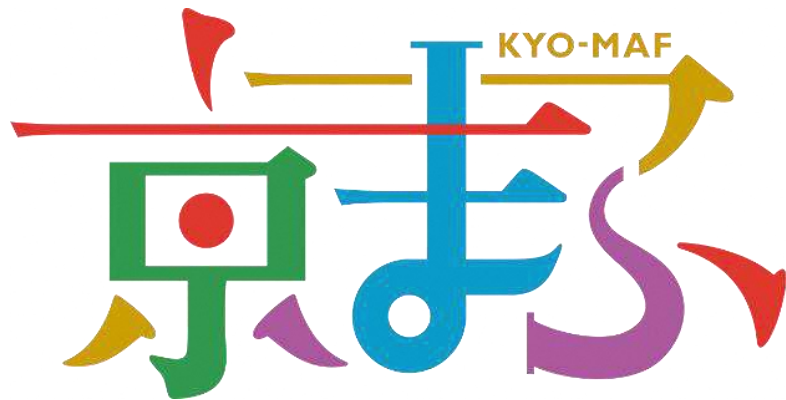
マンガ・アニメ・ゲームなどのメディア芸術の強みを活かした取組

概 要

- 西日本最大規模のマンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」を万博期間中に実施。
- 京都市内企業等と連携した伝統産業とマンガ・アニメ・ゲームなどのメディア芸術とのコラボ商品の開発・販売等による、観光客誘客やビジネスマッチングの増加を図る。

想定会場：みやこめっせ、ロームシアター京都ほか京都市内各地

実施時期：9月を中心に年間を通じ実施





【目指す姿】

高級茶の代名詞である「宇治茶」なかでも「宇治のお茶（市内産宇治茶）」の伝統・文化を国内外に発信し、さらなるブランド力の向上とともに消費拡大を目指す

概要

全国茶品評会でこれまで50回以上産地賞を獲得した日本一の碾茶の産地である宇治市における宇治茶は①覆下栽培 ②手摘み ③一番茶のみ収穫 の3つの伝統を守り、高い名声を誇っている。これらの伝統と文化の体験を通して、オンリーワンである宇治茶の存在を世界に向けてアピールする。

市内の各茶園、茶づな、市営茶室対鳳庵、匠の館、各茶商など、数ある市内の茶の関連施設で、覆下茶園での手摘み体験や製茶体験、玉露の淹れ方・抹茶の点て方講座など宇治のお茶文化を余すことなく体験できるツアーを開催

実施主体

宇治市

【問い合わせ窓口】宇治市農林茶業課

実施場所

宇治市内茶園、茶づな、市営茶室対鳳庵など

実施時期

万博会期中

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

宇治茶の伝統と文化を守り、今後もオンリーワンの存在であり続けるとともに、関西万博をきっかけとして、茶業界の横のつながりをより強固なものとし、世界に向けて販路拡大を図る。

【目指す姿】

源氏物語の世界観をはじめ様々な文化・歴史を感じる味わう学べるまち『うじ』の
魅力発信

概 要

源氏物語や平安時代にゆかりのある地を中心に、様々な時代の文化・歴史の魅力を伝える取組を推進するとともに、事業連携や発信の強化を図る。

○「光る君へ」コラボ企画の取組

○食文化発信の取組（宇治茶など）

○歴史文化資源の発信の強化（朝日焼など）

○源氏物語の「和歌」に触れる・思いを馳せる取組

○源氏ろまん ・宇治十帖スタンプラリー ～スマホで巡る～ ・宇治田楽まつり ・源氏物語セミナー など

『うじ』に来て 感じる！味わう！学ぶ！ 悠久の時を巡る「うじ」を世界へ発信

実施主体

宇治市・宇治市教育委員会
宇治田楽まつり実行委員会

【問い合わせ窓口】宇治市文化スポーツ課

実施場所

市内各所

実施時期

万博会期中

関連HP

<https://www.city.uji.kyoto.jp/site/bunkakatsudou/6425.html>



そ の 他

外国語対応などについては調整中

万博後の取組

『うじ』の文化・歴史を次世代に継承するとともに、国内外に魅力を発信する事業を継続実施。

【目指す姿】

親子でカーボンニュートラルを学び、将来の環境意識の醸成を図る

概要

- 小学5、6年生の親子を対象としたゼロカーボンツアー
- 脱炭素に関連する施設等を現地見学し、脱炭素について親子で学ぶ
- 現地見学の行き先を万博会場とし、先進的なカーボンニュートラルについて学ぶ
- 2050年に社会の中心となる世代に対して行う環境学習
- 親世代が参加することで、子どもが大きくなったときの地球環境を考える機会とする

実施主体

宇治市

【問い合わせ窓口】
宇治市環境企画課

実施場所

宇治市役所及び万博会場

実施時期

夏休み期間

関連HP

<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/21/65341.html>

その他

—



万博後の取組

万博後も、若年層への環境意識の醸成となる取組みを引き続き継続

【目指す姿】

市民、事業者、行政など宇治市全体が一丸となって環境問題に取り組んでいく

概要

- 宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）が中心となって行うフェスタ
- 例年開催しているイベントに万博のブースを設け、万博開催の機運醸成を図る
- 市民、事業者、行政などがそれぞれブースを出展し、それぞれの環境に対する取り組みを紹介

実施主体

宇治市

実施場所

宇治市内

実施時期

11月頃

関連HP

—

【問い合わせ窓口】
宇治市環境企画課

その他

—



万博後の取組

万博後も、宇治市全体が一丸となったカーボンニュートラルの取り組みなどを継続

宇治市内のものづくりの魅力にふれる オープンファクトリーツアー

宇治市

産 業

【目指す姿】 万博を通じて、世界に羽ばたく『宇治のものづくり』

概 要

- ・宇治市の主要産業である製造業は、市内生産額の3分の1、市内従業者数の5分の1を占め、中でも飲食料品、電子部品、プラスチック・ゴム、輸送機械製造が盛んで、大量生産型の企業よりニッチトップ型の中小企業が多い。
- ・高い技術を持つ宇治のものづくりを体感いただくことにより、お茶や観光コンテンツだけではない「新たな宇治の魅力」の発見につなげることで、産業観光の可能性を探る。
- ・また、実際のものづくり現場を「見て・聞いて・感じる」ことによりものづくりへの意識を醸成し、将来のものづくり人材の担い手となるようつなげていきたい。
- ・あわせて本取組を通じて、参加企業の従業員の意欲の向上と自社への愛着の醸成を促す。

実施主体

宇治市・デザインウィーク京都

【問い合わせ窓口】 宇治市産業振興課

実施場所

市内各工場・工房

実施時期

万博会期中

関連HP

<https://designweek-kyoto.com/>



そ の 他

外国語対応については調整中

万博後の取組

万博を契機に、市内ものづくり企業同士の連携を深めることにより、万博後も海外向けPRを意識したオープンファクトリーを継続して実施。

【目指す姿】

宇治川を中心とした自然環境と伝統的文化を活かしたにぎわいづくり

概 要

- 市街地から徒歩圏内にある天ヶ瀬ダムや宇治川周辺の景観を活用し、天ヶ瀬ダム周辺を新たな観光資源として創出することで、地域全体の周遊観光を促進する
- 宇治川の鵜飼などの伝統的文化を伝承・保存するとともに、事業者の新たな取組への挑戦を支援することで、何度も訪れたい観光地を目指す
- 「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」に沿い、宇治川での体験型川下り等の実施や、淀川舟運活性化協議会と連携した、淀川沿川地域との広域的なにぎわいを創出する

実施主体

宇治市、観光協会、連携企業
(予定)

【問い合わせ窓口】宇治市観光振興課

実施場所

天ヶ瀬ダムから宇治橋間を
中心とした宇治川流域

実施時期

随時

関連HP

—



天ヶ瀬ダムツアー



宇治川鵜飼

そ の 他

天ヶ瀬ダムから宇治橋間の宇治川流域をつなぐ移動手段として、グリーンスローモビリティやシェアサイクルなど宇治に相応しい移動手段の導入について検討

万博後の取組

観光だけでなく、舟運の活用による住民の安全・安心を確保する観点も含め、動力船舶が安全に運航できるための航路の確保を目指す